

ふんわり心に降り積もる 昔話で福島の魅力を伝える

「ふくしま民話茶屋の会」(以下、民話茶屋の会)は、平成13年に開催されたうつくしま未来博のパビリオンの「1」からくり民話茶屋」での語りをきっかけに生まれた会です。結成以来10年以上、福島市内各地に伝わる民話と方言を通じ、故郷の歴史や魅力と現代に生きる知恵を伝えたいと精力的に活動してこられました。その活動は、定期口演(右下参照)をはじめ学習会、民話集の出版、他県の民話の会との交流など多岐にわたります。口承文学の筆頭として挙げられる昔話は、「口や目で語り、耳や目で確かめるのが一番」と話す民話茶屋の会、会長の渡部八重子さんに語り部になった経緯や昔話の魅力について伺いました。



ふくしま民話茶屋の会 会長 渡部 八重子 さん

Yaeko Watanabe PROFILE
昭和11年、河沼郡湯川村(旧勝常村)生まれ。昭和32年、大和農芸家政短期大学(現 大和学園聖セシリア女子短期大学)卒業。同年から平成8年までJA福島中央会に勤務。その後、ふくしま市女性団体連絡協議会の3代目会長を務める。平成13年に開催された「うつくしま未来博」では、語り部として「からくり民話茶屋」のステージに立つ。平成14年1月、福島市を中心に有志で「ふくしま民話茶屋の会」(現在28人)を組織。以後、定期口演、学習会、交流会など精力的に活動が続いている。並行して、平成13年、福島市観光課が募集した作文集に感銘を受け「花見山案内実行委員会」を立ち上げ、ふくしま花案内活動にも取り組んでいる。

子ども時代の楽しみはおばあさんが語る昔話

河沼郡湯川村の勝常寺の近くで生まれ育った渡部八重子さんは、「ざつと昔：あったと」から始まるおばあさんの昔話が大好きな子どもでもでした。寝る前はもちろん、竈に藁をくべてご飯を炊くおばあさんの隣にしゃがんで「ばあちゃん、ざつと昔、ざつと昔」と、せがんだそうです。昔話は、語る人によって多少アレンジが加わります。「ばあちゃんの話は、いつも肯定的。『うりこひめとあまのじゃく』のあまのじゃくも

うりこ姫を殺さなかった。どれも生かすように語っていました。夜は、その優しさの中でスウッと眠りに落ちていくのが常だったと言います。

市政100周年の記念に市内の民話100話を選定

そんな渡部さんですから「うつくしま未来博」だけで「からくり民話茶屋」の活動を閉じてしまうのは、忍びないことでした。賛同者を得て民話茶屋の会を立ち上げると、精力的に活動してきました。その最たるものが平成19年の市政100周年記念事業でした。「会員たちが協力し

合い福島市内の民話を100話選定し、民話マップや民話集も作りました。大変でしたが、どれも会員の血肉になりました。また、コラッセの定期口演で互いの語りを聞くことは、聞き手にどう伝えるかという勉強になりました。「昔のように話すだけで情景が見えてくる環境ではないですから。ゆるい縁(囲炉裏縁)とか茅葺き屋根の煙出しとか、昔の暮らしをどう描写するか。仲間の語りを聞きながら研究したんです」

語りながら昔話に自分を重ね 生き方を教わる

昔話の魅力を渡部さんは、話の中に宿る人の生き様と知恵だと語りま

物に姿を変えて語ることで本人の気付きを促すのは「おとぎ話」。今も変わらない嫁と姑の『世間話』。私は、語る度に昔話に自分を重ね生き方を教わってきたように思います」
ちなみに福島市のシンボル信夫山も民話の宝庫です。「信夫山を追い出されたという『石ヶ森の加茂左衛門ぎつね』はもともとは人間だったキツネ。だからあんまり人をだませない。なんでキツネになったのかは、口演に来られた時のお楽しみにしておきましょう(笑)」。ふんわり心に降り積もる渡部さんの語り。
福島市の民話を聞きに足を運んでみませんか。軽妙な語り口に笑いこぼれ、オチに納得し、元気をもらえると思います。



▲福島市民家園(渡辺家)で来園者に昔話を語る渡部さん



▲市制100周年記念事業の一つ。「100回の出前語り」



▲民話に登場する「種まきつゆわね」。春になると、吾妻山の山肌につゆわねの雪形が現れる。

▲「ふくしまの民話」福島市の全地区から選定した民話100話の中から、第一集、第二集を作成

▲民話の宝庫 信夫山

- 定期的に行っている常設口演
- コラッセふくしま…毎週日曜日 午後1時30分～3時 (12階展望ラウンジ)
 - 御倉邸……………毎月第3日曜日 午前10時30分～午後3時
 - チェンバおおまち…偶数月の第3土曜日 午後1時30分～
- ※曜日・時間は都合により変更になることがあります。



- ### 十七地区に伝わる主な民話
- 大徳坊(中央地区)
 - 安寿と厨子王(渡利地区)
 - 白菊童子(杉妻地区)
 - 一盃森の長次郎狐(清水地区)
 - もちずり石(東部地区)
 - 耳取川(北信地区)
 - 片目清水(信陵地区)
 - 雨地藏(吉井田地区)
 - 大竹地藏尊(西地区)
 - 鹿女房(土湯温泉地区)
 - 乞食坊主と円寺(立子山地区)
 - 乙和の椿(飯坂地区)
 - 蓮泉寺のトラ猫(松川地区)
 - 炭焼き藤太(信夫地区)
 - 王老杉ものがたり(吾妻地区)
 - 刺技地藏(飯野地区)

※「うりこひめとあまのじゃく」…瓜から生まれた瓜子姫の嫁入りを妨げた妖怪・天邪鬼が退治される昔話。話の展開や結末は地域により諸説ある。